ごんじょう寺だより

2011（平成23）年５月15日

第 12 号

浄土真宗本願寺派　欣浄寺
〒511-0256 員弁郡東員町南大社954
℡　0594-76-2596
発行責任　欣浄寺総代会事務局

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要の年に当たり

平成二十三年四月九日～四月十六日に始まり平成二十四年一月九日～十六日（ご命日）まで親鸞聖人七五〇回大遠忌法要が京都本山西本願寺にて勤修されます。

親鸞聖人は「あなたが幸せにならなければ私も決して幸せになることができません」という阿弥陀様の慈悲深い心に出遇い、とても感動してそのお心を人生の道標として生き抜かれた方と伺っております。ご門徒の皆様に親鸞聖人をもっと深く知っていただく意味で、団体参拝では、仏教総合博物館として西本願寺の前に今月開館した龍谷ミュージアムに立ち寄ります。親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を記念して、仏教を開かれた釈尊と浄土真宗の開祖となった親鸞聖人をテーマに「釈尊と親鸞」の記念展を見学していただきます。また宿泊プランでは親鸞聖人にゆかりのあるところとして日野誕生院、ご往生の地・角坊（すみのぼう）や比叡山の大講堂・常行堂（特別排観）を参拝していただきます。

御真影（親鸞聖人木像）
尊前の三対のローソク

本願寺到着、お御堂へ

員弁組（十三日講）欣浄寺では今後五月十一日～十二日と十一月十二日に団体参拝を計画しております。五十年に一度のご縁にどうぞ門徒の皆様お誘い合わせの上ご参拝くださいますようお願い申し上げます。

子ども会ウォークラリー
南大社から南金井経由大井田まで

員弁組春休み恒例行事キッズサンガ（子どもの集い）ウォークラリーが、今年は欣浄寺を会場に開催されました。各お寺から集まった一三〇名の子ども達や保護者、スタッフの皆さんで一杯になったお御堂で開会式。コースはスタートの欣浄寺から大安町南金井徳善寺、蓮成寺を経由してゴールの大井田光明寺までの三・八キロ。お勤めの後八チームに分かれてスタート、南大社往還（おうかん）通りの満開の桜並木をめでながら、クイズやゲーム対抗をして、元気いっぱいで全員無事にゴールしました。優勝は、東員町穴太の源光寺チームでした。八月十五日終戦の日の〝安穏の鐘〟とともに、員弁組の風物詩となっています。

本堂で開会式

南大社桜並木をウォークラリー

除夜の鐘・元旦会の様子

大晦日の夜、本堂にてぜんざいや新酒がふるまわれ、みぞれまじりの風がふき、大変寒い日でありましたが、百名近い方々が参加され、除夜の鐘を撞かれました。鐘の響きが四方に広がる余韻を楽しめるようになるまで何度もたたかれる人もみえました。元旦会へのお参りも多くの方が参加され、にぎやかで晴れ晴れしい新年を迎えることができました。

ライトアップ

除夜の鐘

親鸞聖人七五〇回大遠忌法要に参加して

石垣定雄

晴天に恵まれた四月十六日員弁組（十三日講）から団体参拝の機会をいただき、本山での法要に参加いたしました。当日は員弁組三〇〇名が、バス七台に分乗し本山に向かいました。会場は平成の大修復で完成した御影堂に、全国各地からこの日のために詰め掛けた三五〇〇名余の門徒衆が、準備されていた指定席につき法要が始まりました。

私は修復後初めて御影堂を拝見しましたが、内陣は金箔が貼られ、天井など鮮やかな彩色を見たとき、まるで極楽浄土を思わせる不思議な感じにさせられ思わずため息が出ました。

門主さまからは、冒頭にこのたびの東日本大震災で被災された方々への心からのお見舞いのお言葉がありました。法要のスローガンでもある「世のなか安穏なれ」に込められた深い意味、また阿弥陀如来の知恵と慈悲の心について等、私たち生きる人間として往生成仏し努力する意義など、貴重なお言葉を拝聴することができました。その後式典に入り、参拝者全員で「宗祖讃仰作法」を合掌し法要を終えました。

団体参拝バス前で記念写真
筆者（左から３人目）

門前町の龍谷大学「龍谷ミュージアム」では、法要記念として特別展「釈尊と親鸞」が開催されており、親鸞聖人ご影像をはじめ、ご生涯の絵図、年譜、歴史的仏像等々が展示されており、我々凡人には十分理解できないにしても、改めて親鸞聖人の偉大さを垣間見ることができました。

最後に今回五〇年に一度の大遠忌法要参加のご縁をいただきましたご住職をはじめ世話方の皆様等に感謝するとともに、欣浄寺の発展を念じ上げます。合掌

平成二十三年欣浄寺世話方役員名

志水政義　一色利之　石垣哲司
一色勝哉　近藤宗成　中山昭男
一色宗司　石垣　平　水谷武雄
斎藤博美　門脇将實　一色末廣
佐藤美義　一色博樹　石川秀夫
太田　博　中山昭紀

今年一年お世話になりますが、よろしくお願いいたします。

仏壮役員改選

昨年の仏壮総会で次の三役の皆さんが選出されました。

会　長　中山雅幸　副会長　石垣　萬
副会長　岡本義文　会　計　近藤孝文（新任）

仏事のワンポイントメモ

仏具を正しく置きましょう

香炉・ローソク立てに前後ろがあることをご存じでしょうか。多くのものは、脚が三本になっています。鼎（かなえ）といいますが、古来より前が一本になるよう置くことが安定した姿に見えるとされています。前が二本ならば、後ろ姿を拝んでいるようでおかしいですね。一度ご確認を。

ローソク立

五月～十月の主な行事

＊六月五日（日）
納骨団参（十三日講主催）
＊七月九日（土）午後二時（ひばりホール）
夏季仏教大学（町仏教会主催）
※欣浄寺住職が東員町仏教会会長に就任しました。
どうぞ、お誘い合わせご参加ください。
＊夏休み中
子ども会（正信偈練習）
＊七月二十七日（水）～二十八日（木）
本山児童念仏奉仕団
（大遠忌キッズサンガ）
＊八月十五日（終戦の日）
安穏の鐘
（キッズサンガ・平和を願って）
＊九月五日（月）六日（火）七日（水）
秋季永代経